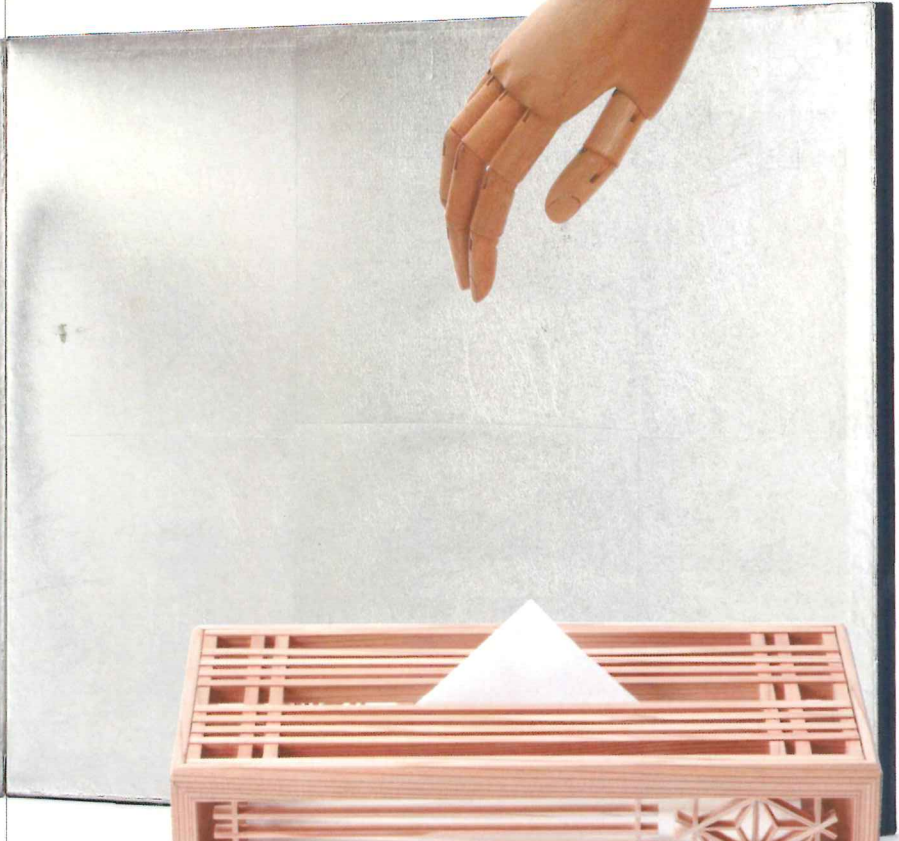


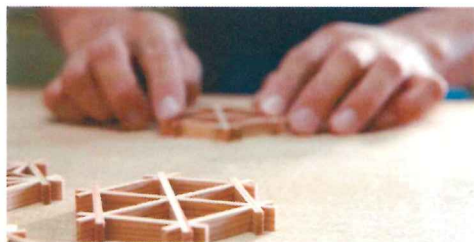
箱にも衣裳。



「青龍」大湊文吉商店
本流屏風は天然素材である木と和紙を使い、熟練の職人の技術を整えて作り上げる芸術品です。温度・湿度の変化にも問わずに形をとどめ、数百年の時態を経て現存する屏風であることがそれを証明しています。



※6月末発売予定



秋田杉で作られる組子のtente

寒冷地という厳しい環境で少しずつ育ってきた秋田杉は、年輪の目が細かく赤みが強く、とても美しい木目を持ちます。表面にウレタンなどの塗料や抗菌コートをかけなくても清純な香りで、構造的に強く耐湿に強いという特性もあります。その秋田杉という素材を使い、細く薄く引き割った溝、穴、ほぞ加工を施し鉋やノコギリ、ノミなどで釘を使わず木片をきっちり1本1本組み付けをしていく装飾性の高い木工芸「組子」のtenteを、100年以上の歴史を持つ大湊文吉商店にて作成しました。

「大湊文吉商店とは」

北越の小京都と呼ばれる新潟県加茂市にある操業100年を超える表装屏風製造の老舗です。元々は、地産品としての加茂和紙に桐紙から抽出したものを控った「濃紙」の製造から始まり、その後、その「紙」と「木」の融合商品として、軍需や建具の技術を利用した表装屏風が生まれました。現在では、総合インテリア商品の製造から業務用什器や仏具の市場まで拡大し、世界市場への展開を果たしています。



ひと部屋にひとつ。



大湊文吉商店
Ominato Bunkichi Shoten Co., Ltd.

HEMING'S INC.
http://www.hemings.co.jp
081-51-100 http://www.zenon.org-net.com